

1. 趣旨 子どもの健全育成に取り組む実践家が結集できる拠点づくりとその活用の支援を目的とする。拠点は、地域活動の一環として実践家と共に市民も集いて市民啓発や研究支援をも含めた場とする。この目的を遂行するために、北信越の各県単位での拠点とネットワークを構築し、併せて全国との連携を図り、各県での活動を幅広く展開する。

2. 経緯 富山では、子どもの健全育成に関する取り組みが個人活動や団体活動としてそれぞれ独自に行われていたが、2005年のこども環境学会の設立に刺激され、活動家のネットワークを求める声や実践と研究の両面からの充実を図る声の実践家を中心に日増しに強くなり、2010年12月には富山中心で対象を北陸まで広げ、市民・研究者・実践者が結集してグループを誕生させた。これが北陸こども環境研究会である。(2011年3月理事会承認)

本会は、学会大会開催後に活動を受け継ぐ形で発足した兄貴分(関西、東海)の委員会とは違って草の根的発足のため、研究よりも地域に根ざした実践が主となっている。

3. 活動の概要 本会では結集する実践者への支援や市民啓発を主として、活動の大枠を四種設定した。以下に示す。

・第一は、実践支援として共催や後援や応援の形市民参加の企画を実施している。また地域における知的サービスとしてミニセミナーを実施し、そ



子供遊ばせ隊への応援

こでは実践者の活動について意見交換等を楽しんでいる。

・第二は、北陸各区域の活動の活性化を図っている。会発足当初 2011 年は富山を中心拠点に設定し、そこに福井と金沢の方々が集まる形であった。2016 年には、合同セミナーの福井開催を機に、本会の暖簾分けとして「北陸こども研究会ふくい」が設立され、福井県域での活動が活発化した。また 2019 年には、合同セミナー新潟開催を機に「北陸こども研究会にいがた」が発足し、新潟県域での活動がしだいに定着し始めている。

・第三は、学会活動の基本が地方の活性化にありと考え、各地域のこども環境研究会とタイアップして、学会地方本委員会を介し学会活動を地方から支えることにある。これについては、2012 年から毎年実施の東海・関西・北陸の合同のセミナーにて三地区の一翼として積極的に参画し、三地区の連携はいうに及ばず、開催地域の活動土壌の掘り起しを一翼として図っている。

・第四は、IT活用として情報発信の目的で会のHPとFB、富山でHP、福井でFBを各々運用している。HPでは、会の行事予定や報告などの情報案内に加えて、会の目的や方針さらに活動の記録を掲載し、会のすべてがわかるようにしている。今後は、運用中のHP・FBのきめ細かな更新とともに金沢、新潟、長野のFBを整備したい。

なお会のHPは

<http://buna.html.xdomain.jp/kodomo.html>

であり、これには会の活動記録として年表や各種報告書等を掲載している。

4. 活動成果と今後 活動歴9年、地域での相互交流をめざして各区域では実践団体とのタイアップにより啓発や実践・研究を支援している。このような地道な活動が広く共感を得ていると思っている。今後もこれまでの活動を継続発展させ、実践の拠り所より充実と啓発や実践・研究の発展に寄与したい。



合同セミナーのエクスカージョン、左から順に福井の山林、富山の古民家、新潟のこども創造センター